

# 津市防災だより

令和2年4月16日発行

令和2年 第1号

防災室

☎229-3104 FAX 223-6247

## 東日本大震災の教訓から

### 津市自主防災協議会主催の研修会を開催

南海トラフの巨大地震は、いつ起こってもおかしくないといわれています。そのため、個人で災害に備えて準備しておくこと、地域の自主防災組織を中心として準備しておくことが非常に重要です。

また、これまで被害を受けた被災地の状況などからも明らかとなり、大規模災害時には、住民への避難誘導、避難所運営等さまざまな防災対策を講じておくことが必要です。

そこで、昨年12月20日に東日本大震災を実際に体験された防災減災アドバイザー・吉田亮一さんを講師として招き、津市自主防災協議会主催の防災研修会が開催されました。

研修会では、東日本大震災時における避難所運営や避難所での課題、普段からの自主防災組織での先進的な取り組みが報告されました。地域の防災力の向上が必要と理解した上で、地域と行政が良い形につながって防災・減災に努めてほしいとの話がありました。



講演内容に聞き入る参加者の皆さん

#### 【研修会参加者の声】

- 実体験や具体的事例が非常に参考になった。自主防災会に活用したい。
- この内容を地域で1つでも反映できればと思う。
- 被災したときに備えて、本当に役立つ防災訓練をしなければと感じた。
- 考えつかないことが多くあり役に立った。

## 自主防災組織での取り組み

### 自主防災組織とは

住民一人一人が「自らの命は自ら守る」、そして「自分たちの地域は、自分たちで守る」という考え方にに基づき、自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。地震や水害等の災害が発生した時に、被害を防止・軽減するための防災活動を行うなど、自らの身や地域を守るための自主的な活動を行います。

### 自主防災組織の活動

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため、日常的に行う活動(平常時の活動)と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動(災害時の活動)があります。

- 平常時の活動例…防災知識の普及・啓発活動、防災訓練、防災資機材などの整備、避難行動要支援者対策、避難所運営体制づくりなど

- 災害時の活動例…情報の収集・伝達、簡易水防工法、出火防止・初期消火、救出・救護、避難誘導、避難所運営など

### 自主防災組織はなぜ必要なのか

阪神・淡路大震災では、倒壊した家の下敷きになるなどで、多くの犠牲者が出ました。助け出された人の約8割が、家族や近所の人により救助されました。大規模災害が発生した場合、行政機関にも被害が生じ十分な応急活動ができないことも予想されます。このような状況で被害を軽減するには、地域住民がお互いに助け合い、活動することが必要です。

津市防災サイトでは、自主防災組織の活動事例などを紹介していますので、各自主防災組織で活動する際の参考にしてください。



自主防災組織について